

進撃の巨人 第1期 第16話

タイトル: 今、何をすべきか ―反撃前夜③―

キャラ リスト:

エレン・イェーガー、ミカサ・アッカーマン、アルミン・アルレルト、ジャン・キルシュタイン、コニー・スプリ
ンガー、サシャ・ブラウス、アニ・レオンハート、ベルトルト・フーバー、ライナー・ブラウン、クリスタ・レ
ンズ、ユミル、マルコ・ボット、エルヴィン・スミス、リヴァイ・アッカーマン、オルオ・ボザド、エルド・ジ
ン、グンタ・シュルツ、ダリウス・ベア＝ヴァルブルン、ディータ・ネス、兵士たち

Japanese script from unknown (kitsuneko.net)

English translation from Gogoanime subtitles

Transcribed and organized by Kiriban

Do not ask for permission to edit. Please read my [FAQ](#) for more usage details.

兵士1	最後にシャフトを交換したのはいつだ？
サシャ	6日前の...掃討作戦の後です。
兵士2	記録どおりだ。
兵士1	よし、次。お前だ。
クリスタ	42班所属、クリスタ・レンズです。
兵士1	摩耗を確認する。
訓練兵1	巨人を殺して罰せられることもあるんだな。
訓練兵2	変な話だけど、貴重な被験体だったし....。
訓練兵1	だからって！何で俺ら訓練兵の中で犯人捜しなんだ？
訓練兵2	ああ...みんな今日まで続いた戦場の処理で憔悴しきっているのに....。
アルミン	ん....。
コニー	巨人が憎くてしょうがなかったんだろうな。

アルミン うん...でも、これじゃ、巨人に手を貸したようなもんだよ。

その人の復讐心は満たされたかもしれないけど、人類にとっては打撃だ。

コニー 俺はバカだからな...分かる気がする。

巨人を見る前は、俺本気で調査兵团になるつもりだったんだぜ。

けどもう二度と見たくねえ。

今日所属兵团を決めなきゃいけねえのに...。

(考え) ジャンの奴...本気で...。

ジャン (考え) みんな...後悔してる。

(考え) こんな地獄だと知ってりゃ、兵士なんか選ばなかった。

(考え) 精魂尽き果てた今、頭にあるのはそればかりだ。

なあ、マルコ...もうどれがお前の骨だか分からなくなったよ...。

(考え) 兵士になんかならなければ、次は誰の番かなんて考えずに済んだのに...。

エレン (過去) 何十万の犠牲で得た戦術の発達を放棄して、おとなしく巨人のエサになるのか？！

ジャン (考え) 分かってんだよ。戦わなきゃいけねえことくらい。

(考え) でも...誰もがテメーみたいな死に急ぎのバカにはなれねえ。

あつ...。

マルコ (過去) 怒らずに聞いてほしいんだけど...ジャンは強い人ではないから、弱い人の気持ちがよく理解できる。

(過去) それでいて、現状を正しく認識することにたけているから、今何をすべきか明確に分かるだろう？

ジャン んっ！クツ...。

今...何をすべきか...。

おい、お前ら。

クリスタ えっ...？

ジャン 所属兵科は...何にするか決めたか？

俺は決めたぞ。

俺は...うう...俺は...調査兵団になるっ！

コニー クソッ...。

なあ、アニ。お前どう思った？

あのジャンが調査兵団になるって言ってんだぜ。

アルミン えっ？ジャンが？

アニ 別に。

コニー お前は憲兵団だもんな？

やっぱり俺もそっちにしたほうがいいかな？

アニ あんたさあ...人に死ねって言われたら死ぬの？

コニー 何だそりゃ？死なねえよ。

アニ なら、自分に従ったらいいんじゃないの？

コニー あっ...。

アニ アルミン。あんたはどうなの？

アルミン えっ？

僕は...死ぬ理由が理解できたら、そうしなきゃいけないときもあると思うよ。

イヤだけどさ。

アニ そう...決めたんだ。

アルミン うん。前からそのつもりではあったんだけど...。

コニー マジかよ？アルミン、お前まで…。

ア二 あんた、弱いくせに根性あるからね。

アルミン あ...ありがとう。

アニってさ、実は結構優しいよね。

アニ は？

アルミン　だって、僕らに調査兵団に入ってほしくないみたいだし。

憲兵団に入るのも、何か理由があるんじゃないの？

アニ 別に。

私はただ...自分が助かりたいだけだよ。

グンタ 結局、無許可で立体起動装置を使った兵士は見つからなかったようだ。

一体誰が...

エルド さあな。

今はこの後の新兵勧誘式のほうが心配だ。

入団しようって酔狂な新兵が、どれだけいるのか。

グンタ　なあ、エレン。お前の同期に、うちを志願する奴はいるのか？

エレン いますよ。

いや...いでしたが...。

今はどうか分かりません。

グンタ 集合！

リヴァイ　支度を急げ。哨戒に出るぞ。

グンタ、
エルド

エレン おはようございます、リヴァイ兵長！

リヴァイ いいか？エレン。

俺から2馬身以上遅れるなよ。

テメーがウロウロできるのは、俺が監視しているからってことを忘れるな。

エレン はいっ！

リヴァイ 行くぞ！

アルミン あっ...ジャン！

本当に...調査兵団に？

ジャン ああ。

サシャ どうして突然？

その...怖くはないのですか？

ジャン は？イヤに決まってるだろ？調査兵団なんて。

コニー えっ？じゃあ、お前、何で...？

ジャン 別に巨人が怖くないから、そう決めたわけじゃねえよ。

コニー えっ？

ジャン それに、有能な奴は調査兵団に入るべきだなんて言うつもりもない。

俺は死に急ぎ野郎とは違う。

コニー エレンか...。あいつはとっくに調査兵団に入ってるんだよな。

兵士 訓練兵、整列！男女正面にならえ！

男女正面に整列一つ！

ジャン 俺はな...誰かに説得されて自分の命を賭けてるわけじゃない。

こればかりは...自分で決めずに務まる仕事じゃねえよ。

エルヴィン 私は、調査兵団団長、エルヴィン・スミス。

所属兵団を選択する本日。

私が話すのは、率直に言えば、調査兵団への勧誘だ。

今回の巨人の襲撃により、諸君らはすでに、巨人の恐怖も己の力の限界も知ってしまったことだろう。

しかしだ！この戦いで人類は、これまでにないほど勝利へと前進した。

エレン・イェーガーの存在だ。

彼が間違いなく我々の味方であることは、彼の命懸けの働きが証明している。

さらに我々は、彼によって巨人の侵攻を阻止するのみならず、巨人の正体に辿り着く術を獲得した！

訓練兵たち えっ？

エルヴィン 彼の生家があるシガンシナ区の地下室には、彼も知らない巨人の謎があるとされている。

その地下室に辿り着きさえすれば、我々はこの100年にわたる巨人の支配から、脱却できる手がかりをつかめるだろう！

ベルトルト えっ？

ライナー 地下室だと？

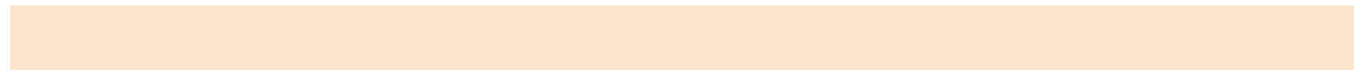
訓練兵たち もうそんな段階まできてるのか？

巨人の正体が分かれば、この状況も…。

アルミン (考え) いくら兵士を集めたいからって、そのことまでを公にするなんて…。

(考え) それとも…何か意図が？

(考え) 団長は一体、何を見ようとしているんだ？



エルヴィン

我々は、シガンシナ区の地下室を目指す。

ただそのためには、ウォール・マリアの奪還が必須となる。

つまり、目標は今までどおりだが...トロスト区の扉が使えなくなってしまった今、東のカラネス区から遠回りするしかなくなった。

4年かけて作った大部隊の行路も、全てが無駄になったのだ。

その4年間で調査兵団の6割以上が死んだ。

4年で6割だ。正気の沙汰でない数字だ。

今期の新兵にも、1か月後の壁外調査に参加してもらうが、死亡する確率は3割といったところか...

4年後にはほとんどが死ぬだろう。

しかし、それを超えた者が、生存率の高い優秀な兵士となっていくのだ。

この惨状を知ったうえで、自分の命を賭してもやるという者は、この場に残ってくれ。

自分に聞いてみてくれ。

人類のために、心臓を捧げることができるのかを！

訓練兵たち

あつ...

エルヴィン

以上だ。

他の兵団の志願者は解散したまえ。

ダリウス

団長、必要以上に脅しすぎではありませんか？

1人も残りませんよ。

ベルトルト

あつ...

ジャン

(考え) クソ...

(考え) 頼むぞ！決めたんだ！

(考え) これ以上自分を嫌いにさせないでくれ...！

サシャ (考え) 今...ここから動かないと...また...。

コニー (考え) 俺はもともと、憲兵になるために村を出たんだ。

(考え) 母ちゃん喜ぶぞ...。

(考え) 憲兵になったら、村のみんなも俺を見直す。

ジャン (考え) 俺たちはもう知ってる。もう...見ちまった。

サシャ (考え) 巨人がどうやって...

コニー (考え) ... 人間を食べるのか！

ジャン うおおおおーっ！

エルヴィン 君たちは...死ねと言われたら死ねるのか？

訓練兵 死にたくありません！

エルヴィン そうか。みんないい表情だ。

では今、ここにいる者を新たな調査兵団として迎え入れる！

これが本物の敬礼だ！

心臓を捧げよ！

兵士たち はっ！

アルミン みんな...。

ジャン 最悪だ、調査兵なんて...。

サシャ 怖い...！村に帰りたい！

コニー もういいや...どうでも...。

ユミル 泣くくらいならよしとけてんだよ。

エルヴィン よく恐怖に耐えてくれた。

君たちは勇敢な兵士だ。

心より尊敬する。

ジャン 敬礼！

ネス 俺が班長のネスだ。そして愛馬のシャレット。

こいつは髪の毛をむしるのが好きだから、ハゲたくない奴は気をつけろ。

よろしくな！

うっ...あっ...ちょっ！バ...バカやめろ！シャレット！

ちょっ...誰か抑えろ！おいっ！

アルミン (叙事) 翌日からの訓練は、実践よりも、エルヴィン団長が考案した長距離索敵陣形を頭にたたき込むことが主だった。

(叙事) 不思議だったのは、緻密な陣形でありながら、そこにエレン・イエガーの配置が示されていないことだった。

ネス お前たち新兵はここだ。荷馬車の護衛班と、索敵支援班の間。

ここで予備の馬と並走、伝達を任せる。

グンタ 俺たち、特別作戦班はここだ。後列中央待機。

エレン 随分後ろなんですね。

グンタ この布陣の中で最も安全。補給物資を運ぶ荷馬車よりも手厚い待遇だ。

まあ、今回は、行って帰ってくることが目標だ。

この壁外遠征が極めて短距離なもの、お前をシガンシナ区に送るための試運転だからだ。

エレン あ...俺にはこの力をどうしたらいいかもまだ分からないままなんです...

グンタ お前、あのときの団長の質問の意味が分かったか？

エレン えっ？

エルヴィン (過去) 敵は何だと思う？

エレン 先輩方は、分かったんですか？

エルド いいや。

オルオ 全てが分かったと言えばウソになるかもしれん。

しかし、俺には…。

グンタ もしかしたらこの作戦には、他の目的があるのかもしれん。

だが、団長はそれを兵に説明するべきではないと判断した。

ならば俺たちは、行って帰ってくることに終始すべきなのさ。

団長を信じろ。

エレン はい…。

グンタ 今日の訓練はここまで。

戻る準備だ。

エレン ん？

あ…あいつら！

オルオさん！ちょっと同期と話してきてもいいですか？

オルオ チッ。さっさと行けよ。

エレン おい！ミカサ、アルミン！

アルミン えっ？ああ！

ミカサ エレン！

エレン しばらくぶりに会った気がするぞ！

ミカサ エレン、何かひどいことはされてない？体を隅々まで調べ尽くされたとか、精神的苦痛を受けたとか？

エレン ねえよ、そんなことは。

ミカサ クッ！あのチビは調子に乗りすぎた。

 いつか私がしかるべき報いを…。

エレン まさか、リヴァイ兵長のことを言ってんのか？

コニー よお、エレン。

サシャ 久しぶりです！

エレン おお、何だよ！みんなそろってんのか？

 でも…お前ら、ここにいるってことは…まさか調査兵になったのか？

コニー 他にここにいる理由あるか？

エレン じゃあ、憲兵团に行ったのは、ジャンとアニとマルコだけ？

 あっ…。

 えっ？まさか…お前まで？

ジャン マルコは死んだ。

エレン えっ？今…何て言った？

 マルコが…死んだって言ったのか？

ジャン 誰しも劇的に死ねるってわけでもないらしいぜ。

 どんな最期だったかも分かんねえよ。

 あいつは誰も見てない所で、人知れず死んだんだ。

エレン マルコが…。

ネス おーい！新兵、集まれ！

兵士たち あっ…。

ネス 制服が届いたぞー！

エレン お前らホントに…。

ミカサ そう。私達も今度の作戦に参加する。

ジャン なあ、エレン。

お前巨人になった時、ミカサを殺そうとしたらしいな。

それは一体どういうことだ？

エレン あつ…。

ミカサ 違う。エレンはハエをたたこうとして…。

ジャン お前には聞いてねえよ。

エレン、
ミカサ あつ…。

ジャン なあ、ミカサ。頬の傷はかなり深いみたいだな。

ミカサ んっ…。

ジャン それはいつ負った傷だ？

エレン んっ…。

本当らしい。

巨人になった俺は、ミカサを殺そうとした。

ジャン らしいってのは、記憶にねえってことだな？

つまりお前は巨人の力の存在を今まで知らなかったし、それを掌握する術も持ち合わせていないと。

エレン ああ、そうだ。

ジャン ん…ハア…。

お前ら聞いたかよ？

これが現状らしいぞ。

俺達と人類の命がこいつにかかってる。

俺達はマルコのように、エレンが知らないうちに死ぬんだろうな。

ミカサ ジャン、今ここでエレンを追い詰めることに、何の意味があるの？

ジャン あのなあ、ミカサ...誰しも、お前みたいになあ...エレンのために無償で死ねるわけじゃないんだぜ。

ミカサ ん...。

ジャン 知っておくべきだ...俺たちは何のために命を使うのかを。

じゃねえと、いざというときに迷っちゃうよ。

俺たちはエレンに、見返りを求めてる。

きっちり値踏みさせてくれよ。自分の命に...見合うのかをな。

ん...！

エレン あっ...んっ！

ジャン だからエレン！

お前...本当に...頼むぞ！

エレン あ...ああ...。

兵士たち 団長、まもなくです。

付近の巨人はあらかた遠ざけた！

開門30秒前！

女子 わあ！

エレン あっ...。

女子 調査兵团だあ！

男子 背中への印、自由の翼って言うんだぜ！

女子 カッコいい！

ダリウス いよいよだ！

これより人類は、また1歩前進する！

お前たちの成果を、見せてくれ！

兵士たち おおーっ！

兵士 開門はじめ！

エルヴィン 進めーっ！！

第57回、壁外調査を開始する！

前進せよーっ！！